

平成30年度 第55回国際教育弁論大会一高校生のメッセージ 2年 長谷川理奈さん【第2位 茨城県議会議長賞 受賞】

「演題:私を変えたアメリカ留学」

◎アメリカ合衆国 ケンタッキー州センリア市にあるセントラル・ハーディン高校で、一年間留学生として過ごした長谷川さんが、有意義な掛替えのない留学体験を素晴らしいスピーチで聴衆に伝え魅了しました。

特に次の3つの点についての重要性を説き、
一つ目は、世界の事を学ぶ前にまず自国のことをしっかり学び、発信することの大切さ
二つ目は、異文化を寛容な心で受け入れる事の大切さ
三つ目は、自分たちの世代が「社会の構成者」としてより良い世界を作る努力をしていかなければならないという気付きの大切さ について揚げています。

留学中に、フロリダ州の高校での銃乱射事件があり、多くの生徒が犠牲になったことについて、恐怖・怒り・深い悲しみを覚えたこと。そして生徒による銃規制を求めるキャンペーンや大規模なデモにも参加したこと。アメリカでは高校生が自ら積極的に「より良い社会」のためや「世界平和」のために自分達ができることを常に話し合い、実際に行動に移していること。さらには、人種・宗教・思想への理解や個人へ尊重することの大切さを学んで感銘を受けたこと。このような相互理解の姿勢が、貧困や戦争のない平和な世界を築く上で欠かせない重要なものであるこということにまで言及しています。

今回の留学を通して、長谷川さんは、「世界の様々な問題の解決に関わることの仕事をしていきたい」という将来の夢の実現についても瑞々しい感性で弁論を結び、私達に大きな勇気を与えるスピーチでありました。

◎平成30年第1回ボストン・ニューヨーク海外研修（平成31年3月9日～3月20日迄）に参加する本校1年生37名のみならず、土浦二高生の皆さんには、世界の平和についても身近に考え、なりたいたい自分にあるために日々学んでいって戴きたいと願って居ります。

Viva 土浦二高！

文責：副校長 原恵三子